



ひがしとよなか だより

令和6年（2024年）度9月号

豊中市立 東豊中小学校

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

校長 河上洋介

2学期が始まります

1学期を通して、本校の求める子ども像のうち、まずは「ひがとよ」のうち「よ」で始まる「よりよい人間関係を構築する子」についてがんばってほしいと、機会を見つけては子どもたちに伝えてきました。2学期も「ひがとよ」の「よ」を大切にすることは続けます。加えて、「ひがとよ」の「ひ」についても、子どもたちに考えてもらいたいと思っています。「ひ」は「ひろく豊かな思いやりの心を持つ子」です。校長先生は、「困ったときはお互い様だよ。」と言い合えることが、「ひがとよ」の「ひ」につながっていくように思っています。保護者の皆様には、感染防止や熱中症防止の基本であり学習の土台でもある、お子様の食事や睡眠といった基本的な生活習慣、学習に必要な持ち物の準備等に留意いただくこと、お子様を励ましていただくことについて、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

夏季休業中教職員研修の様子

まず、7月22日（月）の午前中には、教職員対象の不審者対応訓練が実施されました。訓練には豊中警察の方が2名参加くださり、犯人役もしていただきました。訓練が終わった後に、警察の方から講評をいただきました。さすまたの使い方や、犯人の追い込み方は大変手馴れていたと評価いただいた一方、何をもって相手を不審者であると判断するのか、ということについては課題が残りました。

次に、7月29日（月）の午前中には、学級集団づくり、同じ日の午後には、プログラミング的思考について学びました。午後の学習会では、プログラミング的思考を育てるためには、授業の中で試行錯誤をすること、トライ&エラーができることが大切、といったことが共有されていました。また、コンピュータを使わないプログラミング学習の方法

についても学びました。その一つとして、思考ツールを使った学習等が紹介されていま
した。思考ツールとは、例えば、2つの円の一部分が重なった図で集合の関係を表すベ
ン図等、自分の考えを見える化し、整理するものです。プログラミングで目にするフロー
チャートも、順序や筋道を見える化した思考ツールのひとつと考えることができそうで
す。こういった思考ツールを普段の授業の中で使っていくことによって、子どもたちが、
自分の考えをまとめたときに、「そうだ、あの思考ツールを使ってみよう」と自分で決め
て取り組めるようになるといいなと思いました。

7月30日(火)の午後からは、大阪教育大学教授の住田勝先生を講師に招き、「国語科
における主体的に学習に取り組む態度を育てる授業づくり」について学びました。この
研修は、第十五中学校の夏季合同研修としても実施され、第十五中、東豊台小、熊野田
小の先生も参加しました。講義では、まず、物語を読むための手立てとして、題名に着目
することを教えていただきました。4年生の教材「一つの花」であれば、題名の「一つの
花」という言葉が出てくる場面が大切な場面だと予想できます。また、最初と最後を比べ
る、ということも読む手掛かりになると教えていただきました。例えば、中学2年生の
教材「走れメロス」の冒頭は「メロスは激怒した。」で、結末は「勇者はひどく赤面した。」
です。最初、怒っていたメロスが、最後は恥ずかしくなっています。このことは、メロスが小説
の中でどのように変化したことを表しているのだろう、と考えることが、小説を深く読
む手掛かりになります。こういったことを子どもたちが学んでいくと、物語を読むときに
使える手立てが身につく、自分で読めるように、主体的に読めるようになっていく、とい
うことでした。

<連絡やお願い>

・教育実習生1名を、9月20日(金)から10月18日(金)まで5年3組学級に
て受け入れます。